

## 播州地区教師会開会礼拝メッセージ

姫路あけぼの教会 廣田守男

聖書)「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。そのとき、あなたたちがわたしを呼び、来てわたしに祈り求めるなら、わたしは聞く。わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう、と主は言われる。」

(エレミヤ書 29 章 11～14 節)

「人生には3つのさかがある」と言われます。その内よく知られているのが「上り坂」と「下り坂」です。私たちがあちらこちらに出かける時、大なり小なり上り坂、下り坂にぶつかります。皆さん方も今日までの人生の途上においてはそれぞれ上り坂下り坂を経験しておられるのではないのでしょうか。或いは今、上り坂の最中にあらわれる方も居られるでしょう。しかし時には下り坂と思える経験もしているのではないのでしょうか。かつてテレビを見ていますと、赤ちゃんの成長においても上り坂と下り坂があることが報じられ、下り坂と思える中においても実際は成長していることが実証されていました。私たちも上り坂の状態においては勿論ですが、もし下り坂と思える状況の時にも成長する機会であることを是非知って歩んで行きたいと思うのです。ですからどのような状態におかれても腐らずに希望をもって歩んで生きたいものです。

ではそれ以外のさかとはなんのでしょうか？それは「まさか（真逆）」です。「まさか（真逆）」とは「いくら何でも」「急な」「万一」という意味があります。予期せぬ時に思いがけないことが起こり、とまどっている状態を表す言葉ではないかと覚えます。

今朝読んで頂いたみことばの背景には、神様の選ばれた民である北朝イスラエルの首都サマリヤがアッシリヤによって滅ぼされ、サマリヤに住んでいた人がアッシリヤに連れて行かれ、アッシリヤの人がサマリヤに移住させられ、人種交換がされると言う大変な出来事が起こったのです。これもイスラエルにとって「まさか」の出来事でした。

しかしその出来事を他岸の火事の様に眺めていた南朝ユダにもまさかの出来事が起こったのです。即ち、神の都であるエルサレムにバビロン軍が攻撃をし、神殿を破壊し、エルサレムの住民をバビロンに連れて行き、捕囚としてしまったのです。神様から選ばれたイスラエルの民、ユダの民に「まさか」このようなことが起こるとは誰も予想していなかった事が起こってしまったのです。そのような背景の中で預言者エレミヤを通して語られたのが今朝読んで頂いたみことばなのです。「わたしは、あなた

たちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。そのとき、あなたがわたしを呼び、来てわたしに祈り求めるなら、わたしは聞く。わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう、と主は言われる。」何と豊かな慰めと励ましに満ちた言葉でしょう。

皆さん方の中にも「まさか」を経験されたことがあられるのではないのでしょうか。「まさか」こんな目に遭うとは思わなかった。「まさか」こんな出来事に直面するとは思わなかった。しかとされた（いじめられた）、失敗した、急に成績が悪くなった、病気になった、怪我をした。或いは親が離婚した、親しい人が亡くなったとか、先生や友達に誤解されたとか大小様々なことが考えられます。思いがけないことに出会い、予期しない経験をし、嫌な自分に直面する場合もあることを覚えます。

私は高校2年の時に重い腎臓病を患い1年余り入院生活を送ったことがあります。私にとっての「まさか」の時でした。しかし天地万物を創造され、今も生きて働いておられる神様は、私たち一人ひとりを愛していてくださるのです。そして「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」と語っておられます。それは「平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」と約束されているのです。わたしはあなたのために計画を持っているのだ。それは災いを与えるものではなく将来と希望と平安を与えるものであると語られるているのです。私はこのみ言葉によってどれほど慰められ、勇気づけられたか分かりません。

ですから私たちは「あなたたちがわたしを呼び、来てわたしに祈り求めるなら、わたしは聞く。わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう、と主は言われる。」と約束されているのですから、みことばの通りに神様にお祈りすればよいのです。何が真理なのか、どのようにすればよいのか、探し求めればよいのです。神様が最善なことを教え、最も良い道を示し、それぞれにふさわしい将来を開いてくださることを信じて疑いません。私たち一人一人が今置かれた状況の中で、その父なる神様を信じ、主イエス様に信頼して祈り求め、与えられた使命を全うさせて頂きましょう。